

たまがわがくえん町内会広報

発行 玉川学園町内会 会長 鎮目義雄 ☎ 725-0438
E-mail:t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp http://tamagawagakuen-chonaikai.net

「安全・清潔で、文化の香りに富む 温かいまちをつづけて」

会長 鎮目 義雄



声をかけあい、手を差し伸べ、温かい交流をつづける、伝統的な玉川学園地域のまちの活動も、皆様のご理解とご支援により、今年も順調に進められてきました。少子高齢化の進む成熟期のこの地域も、年間で各100件を越える町内会への転入・転出があり、新たな結びつきを強めることが求められています。

一、年間を通じた防犯環境パトロールの実施

8地区に分かれた防犯防災・環境パトロール隊が年間を通じて地域内を巡り、住民への声かけ、不在家屋の確認、歩道上の廃棄物・ごみの収集を行い、さらに、新たにスタンドパイプによる消火訓練、昨年に続く幼稚園・児童館からの緊急時を想定した避難訓練を実施しました。

二、資源ごみの収集強化

「捨てればごみ、生かせば資源」のリサイクル社会を目指して、ごみの発生を極力抑え、プラスチックほか、市のリサイクル策強化に合わせた収集に努めました。

三、地域の文化を重んじ、温かい交流を深める活動

文教地区玉川学園の自然環境・文化を生かし、地域の新旧の方々の交流を通じた輪の広がりを目指して、文化部、青少年部、成人部、高齢者部が地域に合った活動を進めました。

前年に継ぐ著名落語家による伝統文化演席も、玉川学園出身作家三名による演席も、立錫の余地なき盛況となり、文化への強い望みが伝わりました。

秋の敬老会が嵐により初めて中止されたのは残念でしたが、出席予定者全員に準備したお食事と記念品をご自宅にお届けしたところ、直接ご本人にお目にかかれ、温かい感謝のお言葉をいただいたのが印象的でした。

また、南北商店会の夏祭り、小中学校の児童生徒のフラッグアート展、雛祭り・桜祭り・秋祭りへの支援、協力など地域活性化・世代間交流の広がりが続けられました。

四、支えあう共助のまちをめざして

少子高齢化と世代交代のすすむこのまちで、明るく気軽に手を差し伸べあう温かいまちをめざして地区社協が立ち上がり、つて4年目、交流の場の広がり、さりげない声かけ・見守り、気軽な何でも相談窓口、パソコン相談など、ゆつくりですが活動の広がりが見られました。

五、住みよい緑と起伏のあるまちで

コミュニティバスの北ルート、東ルートに次ぐ南ルートの実現が遅れていますが、課題への最後の調整に努め、早い実現を目指しています。

市に届けている住宅地開発に関する「建築協約」に従い、近隣住民の意向を尊重し、地域と調和した開発となるよう進めています。

六、広報活動の広がり

地域の課題への取り組みは、地域の実情をよく把握・認識し、共通の課題としてみんなで協議し、協調してすすめていくことが大切です。

「町内会だより」「町内会広報」につづき、広報部が「ホームページ」の充実に努めました。地域の情報交換、意見交流が広まることを望んでいます。



防犯環境パトロールのコマ

玉南連・餅つき体験会



防犯防災部

平成二五年度の主な活動について

部長 中村 隆一

本年度の最も大きな活動は、震災時に発生した大火災等の際に、公的機関の緊急車両(消防車)が期待できないことが予測されることから、道路に敷設されている消火栓に直接接続して、誰でも容易に消火のための放水が可能な器具「スタンドパイプ」を購入したことであります。東京都23区内の特に住宅密集地域では、自治体が大量の同器具を購入し配備しておりますが、残念ながら当該地域のような23区外の三多摩地区では、自治体の恩恵にあずかるには至っておりません。そこで、「自らの地域は、自ら守る」との姿勢から、総合防災訓練」がありま

町内会独自で大震災に備えて、同器具を第1〜8地区各2台、合計16台を購入し、各地区の防災倉庫に格納いたしました。現在、各地区では同器具の操作法を早期に習熟すべく、訓練中であります。

また、平成二五年度事業として、玉川学園・南大谷町内会自治会連合会で、東京都が推進する「地域の底力再生事業助成金」により、同器具を各自自治会または町内会に1台、合計9台を購入いたします。(一月に決定通知がありました)

次に大きな活動として「玉川学園地区合同総合防災訓練」がありま

本年度は、3年ぶりに町田第五小学校校庭で実施をいたしました。従来から猛暑の中、八月末の日程を九月八日に変更して、実施をいたしました。訓練の内容につきましては、例年の①「消火」、②「救護」、③「はしご車搭乗」、④「非常食炊出し」に加えて、本年は⑤「スタンドパイプ」と⑥「体育館内で図上説明」の二つのコーナーを設けました。

⑤については、町五小正門前の路上で実施をいたしました。初めての訓練であり、物珍しさもあつた。参加者から消防署員に各種の質問が相次ぎ、予定の時間をオーバーして、後の行程に若干の遅れが生ずるほどでした。それだけ皆様の関心の度合いが高かったように思われました。

また、⑥については体育館の壁に玉川学園地域の地図を掲げ、大きなパネルに当該地域の山坂が多く、地盤の高低差があり、また道幅が狭く緊急車両が入り難い等の特徴を列記しましたが、参加者は当該地域の状況を改めて確認されたようです。

なお、「中央幼稚園・さくら保育園・こころ児童館」合同の防災訓練(避難訓練)につきましては、園児(153名)と職員(30名)、および町内会役員や自主防災隊、さらに近隣の父兄・消防団・駐在所の警察官等(20名)が警護し、避難所の町五小へ誘導し、無事避難訓練を終えました。

その他、下記の行事を実施いたしました。

(1)六月には、防災勉強会として、前・町田消防署 警防課長高山幸夫氏(現・昭島消防署予防課

平成26年度 定期総会案内

平成26年度定期総会を4月20日(日) 午後1時からさくらんぼホールで開催します

定期総会は、町内会の前年度の事業報告、決算報告、新年度の事業計画案、予算案を審議し、地域の諸問題について話し合う大切な会合です。最高の決議機関でもある総会は70名以上の出席者と過半数の賛否で議決することになっています。是非ご出席下さいようお願いいたします。

- ◎総会の議題
- ・平成25年度 事業報告および決算報告 会計監査報告
 - ・平成26年度 事業計画案および予算案
 - ・新役員の選出 (会長、副会長、幹事、会計監査)

【報告事項】

- ・玉川学園交通問題協議会経過報告
- ・玉川学園コミュニティバス推進委員会経過報告
- ・玉川学園地区社会福祉協議会経過報告
- ・玉川学園地区まちづくりの会
- ・芝生の会経過報告
- ・こすもす会館収支報告
- ・さくらんぼホール収支報告
- ・消防団の事業および会計報告

◎今回の定期総会で、次期役員の選出が行われます。「人にやさしい安心して住むことのできる明るいまちづくり」のために尽力して下さる方は、どしどし立候補して下さい。また、そのような方を広く推薦いただきたく、お願い申し上げます。なお、役員の立候補、推薦の方法については、第4ページ下欄をご覧ください

長)をお迎えし、先般の東北大震災の際、同課長が最前線で立川ハイパースキー隊統括隊長として、福島第一原発第3号機への注水活動の指揮をとられた、その経験談と危険な任務についてお聞きいたしました。

(2)七月には各地区の新規防災委員を対象に、池袋防災館で「防災体験学習」を実施しました。内容は、地震コーナーで「震度7」の揺れを体験、救急コーナーでは人工呼吸・胸骨圧迫およびAED操作等、緊急時の救急・救命法をそれぞれ学習しました。

また、最後の図上訓練では大規模地震(震度6)を想定し、各地区別に地域の特徴を話し合い、防災シミュレーションを行いました。

(3)一月の防犯連絡会では、町田警察署・生活安全課富田係長をお迎えし、当地域の空き巣・ひったくりや振り込め詐欺等の犯罪の防止法等について、貴重な現場のお話を伺いました。



防災体験学習会の一コマ

(4)その他、年間を通しての定例的な活動に、ア・自主防災隊長会議(年五回)、イ・環境部と共同しての防犯パトロール(年延べ約150回)、ウ・街路灯や街頭消火器の点検および新規増設の申請等、エ・防災倉庫等の点検管理等々があります。

昨年度は年929・9トンでしたので今年度は少し増量しています。

(2)資源物不正収集車の問題

資源物集積所から主として古新聞を不正に収集していく車についての連絡が、一二月末までに11回、町内会事務所にありました。連絡は第6地区からのものが圧倒的に多く、この地区では一二月末から集積所においてある資源物全体を防止ネットでカバーする試みを開始しています。根本的な解決法について町田市役所環境政策課とも相談しましたが、次年度からGPSの使用などにより防止策を一段と高めてくれるとのことでした。

(3)リサイクル施設見学会

今年度は、環境の改善などに努めている施設も見学の範囲内に入れ、名称を「環境・リサイクル施設見学会」と変更し、六月二〇日に実施しました。参加者は98名。バス2台に分乗して、(株)クレハ環境(工業廃棄物のリサイクル処理)、キリン横浜ビブレッジ(環境に配慮したビールの製造工程)および(株)東京ガスの環境エネルギー館(環境問題対応策に関する教育施設)の3カ所を2組に分かれて見学しました。見学後に提出していただいた感想文では、(株)クレハ環境の、種々の毒性物質を無毒化する処理や燃焼可能な物質の処理から生じる発電などに感動された方

々が多い一方で、老人にはハードすぎる、参加した方々が自己紹介して交流する場も作って欲しかったなどの反省すべき点も指摘していただきました。

(4)町田エコフエスタ

一〇月二七日(日)、「エコライフ 広げるアイデア 明るい未来」をテーマとして、本年度の「町田エコフエスタ」が下小山田町のリサイクルセンターで開催されました。台風27号の影響が心配されましたが、当日は台風一過の典型的な秋晴れとなり、入場者は18,000人に達しました。環境部は、エコフエスタの事業部会の運営を引き受け、「ステージ」および「スタンラリー」の係を担当したほか、「傘と食器のリサイクル」のブースのお手伝いもしました。スタンラリーの景品配布数は、天候の良くなかった昨年の219人に比べ、今年度は345人となりました。

(5)環境パトロール

環境パトロールは防犯防災パトロールと共同し、各地区で、それぞれ一ヶ月に1〜3回実施されています。道路に落ちていたり吸い殻や空き缶などを回収し、道路の清掃に励んでもらっています。町内会の皆さんとの話し合いができる場にもなっています。

(6)善意の傘

環境部には各支部の班から選出された環境委員が58名おり、この方々が毎週交代で、玉川学園前

駅構内の北側と南側に設置されている「善意の傘」の棚および傘立てに置かれていた傘を調べ、使用不能の傘を除去し、町内会倉庫に運んでいます。倉庫に運ばれた傘は、随時、環境部幹事が廃棄処分しますが、傘が少なくなると、奇特定な方々や団体が傘を束ねて寄贈して下さり、これまで、町内会倉庫に保存されている傘を駅構内に運んだのはわずかに40本くらいでした。寄贈される団体で私に連絡してください。たのは1団体のみ、他は匿名です。駅構内においてある傘はまさしく「善意の傘」です。大切にお使い下さい。

(7)憩の椅子

今年度は、町内会が設置している全ての「憩の椅子」22台を塗装し直し、3台のベンチ座板を交換、2台の椅子を新設しました。新設場所は、さくらんぼホール前と小田急線沿いの1丁目のバス停です。新設の椅子は従来のものより長さが半分になっていますが、今後、場所によっては2台続けて設置することも考慮しています。現在、玉ちゃんバスの各停留所に「憩の椅子」を設置することを検討中です。

(8)犬と猫の糞尿に関する苦情

今年も犬猫の糞尿に関する苦情が町内会事務所に届いています。ほとんどの飼い主は、排尿部位に水をかけ、糞を始末してくれていますが、後始末をしないまま放置する飼い主がまだいるのは残念なことです。一二月下旬に町田市の保健所に行き、道路上の糞の処理をお願いする3種類の看板31枚を貰ってきて町内会事務所に置いてあります。また、猫は花壇などに糞をした後に埋めていくので、花壇の面倒を見ておられる方々からの苦情がきています。猫の糞の処理をお願いする看板(10枚)も保健所から貰って町内会事務所に置いてありますので、必要な方はいつでも取りにきて下さい。

(9)ごみカレンダの配布

昨年の玉川学園地区のごみカレンダが8,500冊では足りなかったため、今年のごみカレンダは200冊多く印刷してもらいました。その代わり東玉川学園地区は100冊減らされて、1,000冊となりまして。配布はトラストスピード社にお願いし、最終的には、玉川学園町内会地区のお宅に7,914冊、東玉川学園地区のお宅に820冊が配布されました。(配布先には非町内会員宅も含まれていますが、玉川学園地区では未配布のため町内会事務所とコミュニティセンターで

受け取られた分がそれぞれ100冊前後ありましたが、環境部幹事が配布したのは12冊のみ(昨年は100冊以上)でした。結果的に、200冊の増刷は無駄だったと反省しています。東玉川学園地区は100冊強が残っていますので、次年度も同じ印刷数でよいと考えています。

(10)違反広告物除却

第1地区2名、第2ないし8地区各1名の違反広告物除却員が、原則として複数で、違反広告物を除却しています。これまで、四月(40枚)、五月(12枚)、六月(8枚)、七月(8枚)、八月(36枚)、九月(2枚)、一〇月(4枚)、十一月(5枚)、違反のはり紙や置き看板を回収し、市役所に報告しました。全てが土地・住宅の販売に関する広告で、去年に比べてかなり増えています。

(11)建築協約関係

玉川学園町内会地区に個別住宅・集合住宅を建設する際には、建築業者と建築地の周囲の住民との話し合いをすることが「建築協約」で決められており、これについては、環境部の柴田信之幹事が主導してくれています。以下はこの課題に対する柴田氏の要約です。

年次に7丁目の30戸規模のマシソン計画が凍結になり、その後、4戸9戸の中規模造成が5件発生しましたが、幸い何れも戸建て住宅の計画でした。夏〜秋には4〜

12戸の集合住宅約10件が集中(消費税アップ前の駆込みか)しました。以上のそれぞれに1ないし7回の近隣住民説明会を開催し、協議。希望伝達、工事確認等を行って環境維持に取り組みました。(二戸建築は約40件)

(12)桜の木の問題

この課題も柴田氏が全て主導してくれました。柴田氏は、玉川学園地区に生えている桜の木を全て調べて、玉川学園地区には756本の桜の木があること、その内訳は、宅地内にある桜の木が394本、市が所有する桜の木が362本であることを明らかにし、また、756本の木の生えている場所を、それぞれ、町内会の地図上にマークするという、今後の桜の木の保存の基本となる資料を作ってくれました。以下はこの課題に対する柴田氏の要約です。

当地域のさくらや緑の管理について市や地域団体と協議していく、「さくら協議会」が発足しました。当面は、桜台帳確認、桜の回復・腐蝕対策検討などを行い、今後、長期目標として、当地域の「将来構想」の案を地域全体で検討し市へ提案していく予定です。(尚、二〇一三年には、腐朽による桜の伐採はなく、枯れ枝切除と数件の工事関係伐採に留まりました。)

環境部

環境部会活動の総括

部長 徳力 幹彦

(1)資源物(古紙、段ボール、古着、ビン、カン)回収

本年度これまで(平成二五年一二月分まで)の資源物回収量は総計997・7トンで、月別の回収量は次の通りです。

4月	(125.5)	ン
5月	(114.9)	ト
6月	(102.7)	ト
7月	(113.0)	ト
8月	(102.8)	ト
9月	(95.7)	ト
10月	(103.2)	ト
11月	(119.9)	ン
12月	(120.0)	ン

このように、当防犯防災部は年間を通して各種の活動をいたしておりますが、今後も住民の皆様への「安全確保」のため、さらなる活動をさせていただきます。



新(右)・旧(左)憩の椅子



総務部

部長 浅見孝志

総務部の役割は広範囲で、本年度も、会長、副会長、各部長と連携を密にして、町内会活動の円滑な運営に心がけました。主な事項は次の通りです。

- 1. 年間を通して、総会および定例会議のスケジュール作成と各会議の議題の取りまとめおよび開催の準備。(三役会、常任幹事会、幹事会、支部長会)
2. 町内会費、消防団への協力金の集金取りまとめ事務。
3. 会員向け回覧資料のとりまとめおよび各支部長への回覧物の配送事務。
4. 「町内会だより」の各公共機関への配布。(各学校、商店会、公共施設等計40か所)
5. 会員および同居家族の新学期児童への祝い品や慶弔金の取り扱い。
6. 資源回収奨励金取扱い内規などの制定による堅確な事務の遂行。
7. 各種団体への助成金、賛助金、寄付金等の取り扱い。
8. 各会議への出欠の把握と議事録の作成。
9. 支部長研修会、幹事研修会の立案および実施。
10. その他
町内会地図を作成し各戸に配布、活用を図る。
町田市・市民協働推進課への諸連絡、報告等。

高齢者部

部長 斎藤三夫

毎年敬老の日に開催される、町内会主催の『敬老会』：本年は、九月一日当日のその朝、台風18号が襲来し、早朝より風雨が一段と激しくなっており、嵐状態になり、中止のやむなきに至りました。

かつて経験しなかったこと：会場の町田第五小学校に集まった役員で協議し、出席申込のあった方158名全員に対して即刻電話連絡を行い、『中止に至ったことへの了解を頂きました。そして風雨がやみ弱まってきた11時半頃より、出席予定だった方々8つの地区1軒1軒のお宅を手分けしてお訪ねし、記念の品々(紅白饅頭や、『おじいさん、おばあさん』と町五小学生さんの心のこもったメッセージ)をお届けさせて頂きました。
思わぬ形での直接対面となった敬老訪問：みなさん玄関先で『悪天候の中、記念品をお届けして頂き、嬉しいです。来年を楽しみにしています』と笑顔で迎えて下さいました。一方で、行き届かぬ点もありましたが、多くの方のご理解とご協力を頂いたことに感謝申し上げます。
また、高齢者部では年間を通して『うきうきクラブ』『西寿会』など高

文化部

部長 峰岸伸樹

文化部の今期は、文化講演会と落語会に追いかけられた1年でした。まず文化講演会ですが、九月八日にさくらんぼホールで『あなたも私の履歴書を書いてみよう』というタイトルで『自分史執筆のすすめ』を、山口十八良さんに話して頂きました。講師の山口さんは、もとと角川書店の編集者ですが、宮部みゆき、篠田節子などの人気作家を輩出した名門の小説教室『山村塾』の専任講師。

『そんな肩ひじ張らないで、日記を書くようなつもりで気軽に書いてみてください』とユーモアを交えながら軽妙なトークで2時間を締めくくって頂きました。質疑応答も活発で、充実した講演会ではなかったかな、とひそかに自負しています。
一方の落語会ですが、昨年暮れの十二月一日と直近の二月十五日に、や

はり2回ともさくらんぼホールで行われました。十二月一日の『古今亭志ん輔独演会』は、昨年二月二十四日の会が大好評だったため、町内会の皆さんの声に押されるような格好で実現の運びとなりました。志ん輔師匠は志ん生、志ん朝と続く古今亭の本流を歩む大看板ですが、『紙入れ』『芝浜』とも実力者らしい出来栄でした。とくに師走にふさわしい『芝浜』は、得意の演目でもあり、超満員のお客さんたちは、その話芸に聞きほれていました。

駒次、日るねのお2人も、駒次さんは南口のド・トルでアルバイト経験があり、日るねさんは5丁目に下宿していたなど、町内会の人たちには親近感を感じさせる噺家(はなし)さんです。
また、この3人のほかに玉大出身の落語家はいらそうです。この『玉川学園ふるさと寄席』の今後を楽しみます。



三人集 寄席のさとふる 駒次・木久蔵・日るね

成人部

平成五年度活動結果および定例会 部長 種市邦朗

- ①部会 随時開催
②町田市健康づくり推進委員として参画
③健康チェック・骨密度測定・棒反応(俊敏チェック、六月一六日(日)。南大谷町内会・自治会連合会と共催(100名参加)
④秋の健康ウォーキング 野津田公園、一〇月一四日(月・祝)。(91名参加)
⑤日帰り親睦バス旅行 御嶽山神社・奥多摩溪流・玉堂美術館、一月二八日(木)。(96名参加)

A. 秋の健康ウォーキング(一〇月一四日開催)
野津田公園
今年度は『玉川学園地区町内会自治会連合会』との共催行事が無くなり、玉川学園町内会独自の開催となりました。
一〇月一四日(月)体育の日。秋晴れのもと午前9・30に91名の参加者が元氣よく目的地『野津田公園』に向けてスタートをきりました。

C. 「春の健康ウォーキング」を予定
今期最後の成人部行事として、『恩田川沿いのウォーキング』を予定しています。
三月二十九日(土)に玉川学園駅前口およびコスモス会館を起点にして、途中「松村家のしだれ桜」を見て『堂之坂公苑』で昼食を取り、市立総合体育館前を折り返し点とする、歩行距離約8km、歩行時間約2時間30分の予定です。

青少年部

活動報告 部長 加藤治男

二五年度の青少年部が関わった催しを期日に沿って報告いたします。
◎一〇月二七日(日)に行われた「第26回 秋の子どもまつり」は町田第五小学校校庭を使い10時~14時に秋の子どもまつり実行委員会、町田市青少年健全育成玉川学園地区委員会の共催で実施されました。玉川学園町内会は後援として関わっていますが、準備段階から青少年部として協力しました。当日は良い天気に恵まれ、幹事さんの参加協力を得て昔遊びと工作コーナーを担当し、たくさんの子ども達と充実した交流ができました。
◎一二月三日(日)には、恒例の「クリスマス集い」をさくらんぼホールで10時~12時に行いました。あつたか座さんの公演「いれでけろ」鑑賞とクリスマスソング

の合唱で楽しい時間を過ごし、子ども達にクリスマスプレゼントのお菓子を配りました。鑑賞者は子ども89名大人23名、計112名で好評でしたが、日曜日になったせいか昨年よりも人数が少なく、広報の仕方など今後の工夫が必要と思われまふ。
◎三月一日(土)には「もちつき体験会」が11時~13時に文化センターで行われました。今回もひな祭りにあわせ、気分を盛り上げて美味しく楽しく実施する予定です。
以上が代表的な活動ですが、昨年度からフラッグアートが青少年部の活動として実施されましたのであわせて報告いたします。
フラッグアートは小中学校の美術や図工の授業で、グループ制作で行われます。
南大谷中学校では五月から六月に1年生140名参加。南大谷小学校では五月に5年生108名が参加して行いました。第五小学校では九月から一〇月にかけて4年生と竹の子学級で計96名が参加しました。
展示は制作した生徒・児童の名前をつけて七月に恩田川遊歩道、一二月に玉川学園駅前商店街で行いました。また、一六年一月三十一日まで玉川学園駅前南北商店街歩道で展示します。



クリスマス会の一コマ

集二〇一三年度 特 玉川学園・南大谷地区市政懇談会

玉川学園・南大谷地区町内会自治会連合会主催の「玉川学園・南大谷地区市政懇談会」が、石阪市長および五部局の部長さん、玉川学園駅前連絡所長、事務方として市民部市民協働推進課長他六名の方々にお出でいただき、平成二五年十一月六日に、さくらんぼホールで開かれました。(主催者側参加者は町内会、自治会の役員を中心に約50名でした)

「懇談会」は「第一部：地域の要望に関する意見交換」、「第二部：市長との意見交換」に分かれ、第一部では連合会側がとりまとめた8点の要望事項(防犯防災関係4点、環境関係3点、福祉関係1点)について市の担当部長ないし課長さんから回答をお聞きし、第二部では石阪市長のミニ市政報告の後、出席者との間で自由な意見交換が行なわれました。

防犯防災関係では、スタンドパイプの配備に関する質問が今回初めて取り上げられました。住民側からは、自治会・町内会単位でスタンドパイプを購入しようとするとき市からの財政的援助を期待できるか、スタンドパイプの操作訓練実施時に求められる手続きの簡素化は可能か、スタンドパイプを消火栓の近くに配備することができると、消火栓の数を増やせないかなどの質問が出されましたが、これに対する市側の回答はいずれも消極的で、スタンドパイプ購入のための補助金の制度はない、操作訓練は安全性確保の観点から、必ず消防署の許可

と立ち合いの下で実施してもらいたい、スタンドパイプを消火栓の側に設置することは用地確保や管理方法の面で難しい、消火栓の増設は、水道管と消火栓の口径の違いがあり、そう簡単ではないというものでした。

環境の関係では、玉川学園コミュニティセンターの建て替えと玉ちゃんバス南ルート開設計画の進捗状況について質問があり、市側から次のような回答がありました。

センターの建て替えについては、現在、増築用地取得のため、対象となる土地の地権者(学校法人玉川学園および株式会社小田急電鉄)と協議中である。ただし、この問題が決着しないままでも、一二月までには基本計画の策定に入り、二〇一四年度に基本設計を、二〇一五年度に実施設計を完成させたい。パリアフリー化については小田急の同意が得られる見込みである。



質問に答える 石阪市長

玉川学園地区社会福祉協議会
町田市内で初めて設立された地区社会福祉協議会も、今年で4年目になります。32団体がネットワークを組み、支え合いの町作りを目指し、大勢のボランティアとともに活動を進めています。
① 拠点(集会所 7丁目):地域住民の交流の場、よろず相談の場として会議室として、また使用予定のないときは、地域サロンの集会場として利用されています。
② 広報:地区社協ニュースを年5回発行(その内2回は新聞折り込み)に加え、昨年7月より準備を進めてきた地区社協ホームページが、この1月から独立しました。下記のURLにアクセスして下さい
http://mtg-syakyou.blogspot.jp/
③ 活動内容:
・男性高齢者が集える場として、「オトコも集まる会」に加え、歌の好きな人が集まる場として「歌声喫茶」を開始しました。
・6地区で始めた見守り、安心ネットワークを他地区でも始動させます。
・「パソコン相談」簡単なパソコン利用相談に加えて、iPad やスマホを使いたい方の相談にも応じています。
・「まちかど相談」悩み事や困り事の相談にのっています。
・日常生活の一寸した相談や、小さなお困り事の手助けをするための仕組み作りを進めています。
・ボランティア活動の励みとなることを目指して、地区社協独自のポイント制度を発足させました。

玉川学園・南大谷地区町内会自治会連合会
昨年5月に、玉川学園地区町内会自治会連合会(略称、玉連)は、南大谷地区町内会自治会連合会と合併し、玉川学園・南大谷地区町内会自治会連合会(略称、玉南連)として新たに発足いたしました。本年度の主な行事は次の通りです。
① 健康チェック(骨密度測定) 6月16日
② 市長と語る会 7月10日
③ 合同総合防災訓練 9月8日
④ 市政懇談会 11月6日
⑤ 地域フォーラム 11月19日
⑥ 餅つき大会 於:町五小 12月21日
⑦ スタンドパイプを使用した放水訓練 平成26年3月初旬予定
※なお、玉川学園・南大谷地区町内会自治会連合会(略称、玉南連)の現在の構成員は次の11団体です。
→ 玉川学園町内会、玉川学園第一住宅自治会、玉川学園興人自治会、玉川学園松風自治会、桜ヶ丘自治会、東玉川学園睦会、旭ヶ丘自治会、玉川学園南台自治会、南大谷町内会、南大谷団地自治会、ユニヴェルシオール自治会
玉川学園交通問題協議会
玉南連と、町田市、小田急バス(株)、さらに近隣の自治会も加えた協議会では、駅周辺の駐輪場を整備し、春(5月)、秋(9月)に恒例の「駐輪・駐車秩序正常化キャンペーン」を行いました。
玉川学園コミュニティバス推進委員会
上記の協議会と同じメンバーで、三か月に一度開催され、玉ちゃんバスの運行を図っています。懸案の南ルートの実現が遅れていますが、障害となる問題の一つずつ解決しながら進めており、年度末に向けて最後のステップをクリアするべく努力しているところです。来年度中にはなんとか運行開始にこぎつけたいと考えています。

選挙世話人
本年度の選挙世話人は下記の方々です。選挙についてご不明な点がございましたら、世話人にお問い合わせ下さい。
第1地区・権橋 茂 (世話人代表) 玉学1-9-17 (Tel. 726-5008)
第2地区・浅井 和子 玉学2-17-17 (Tel. 732-8243)
第3地区・渡辺 道夫 玉学3-32-7 (Tel. 726-5601)
第4地区・竹下 知道 玉学3-15-15 (Tel. 725-5206)
第5地区・望月 富雄 玉学5-4-8 (Tel. 732-7214)
第6地区・出澤 克久 東玉学2-1-1 (Tel. 723-0706)
第7地区・後藤美知子 玉学7-2-5 (Tel. 722-1466)
第8地区・柴田 信之 玉学8-8-18 (Tel. 726-8268)

◎役員の内候補、推薦の方法
(1)本年度選出される役職名と人数
会長1名
副会長2名
全区幹事10名
地区幹事20名(以上任期2年)
会計監査2名(任期1年)
(2)立候補および候補者の推薦
・会員は誰でも立候補できます。
・また会員は誰でも他の会員を推薦することができます。(但し、推薦する場合には本人の了解が必要です)
(3)届出締切日
・立候補および推薦の届出は四月一四日(月)～四月一八日(金)12時まで、町内会事務所に設置の立候補届け出箱にて受け付けます。届出の締切りは四月一八日(金)12時です。
・届出用紙は自由ですが住所氏名(ふりがな)を明記して下さい。推薦の場合は推薦者の氏名もお書き下さい。
(4)中間発表
・立候補および候補者推薦状況を、四月一六日(水)14時に町内会事務所に掲示します。
(5)地区幹事について
・地区会において選出し、四月一日(火)12時までに、町内会事務所または選挙世話人にお届け下さい。

Table listing various departments and their members for the 25th year. Columns include: 環境部部長 (徳力 幹彦), 高齢者部部長 (斎藤 三夫), 青少年部部長 (加藤 治男), 成人部部長 (藤村 邦朗), 文化部部長 (上野 真智子), 広報部部長 (井熊 孝司), 会計監査 (山田 充子), 総務部部長 (浅見 孝志), 経理部部長 (鷹 宏代), 防犯防災部部長 (中村 隆一), 副会長 (三浦 光利), 副会長 (松香 光夫), 総務部部長 (浅見 孝志), 経理部部長 (鷹 宏代), 防犯防災部部長 (中村 隆一), 環境部部長 (徳力 幹彦), 高齢者部部長 (斎藤 三夫), 青少年部部長 (加藤 治男), 成人部部長 (藤村 邦朗), 文化部部長 (上野 真智子), 広報部部長 (井熊 孝司), 会計監査 (山田 充子).

「誰でもが、いつでも、助けて」と言えるまち

編集後記
広報部事業報告
皆様のご支援、ご指導に支えられて、この2年間、どうにか予定どおり「たまがわがくえん町内会広報」、「玉川学園町内会だより」を発行、かつホームページを刷新することができました。有り難うございました。来年度以降の広報部の活動にも、なおいそぐご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。(測)